

未来は想像を超えて..



Ethical Procool

エシカルプロクール



水系フッ素樹脂
プロクールF

水系アクリルシリコン樹脂
プロクールSi

水系アクリル樹脂
プロクールA

- 高耐候
- 遮熱・放熱効果
- 超低汚染
- 防藻・防カビ
- 環境配慮
- F☆☆☆☆



エシカルオフィシャルパートナーズ

水系フッ素樹脂系高日射反射率塗料

エシカルプロクールF

高耐候。水系 フッ素樹脂。F☆☆☆☆

20年先の未来へ

22

フッ素で実現した最高品質
長期に資産価値を高める

製品名	エシカルプロクールF
光 沢	5分艶
組 成	水系フッ素樹脂
期待耐用年数	16～22年

Mechanism 機能性のメカニズム

防汚力

防藻・防カビ
超低汚染タイプ

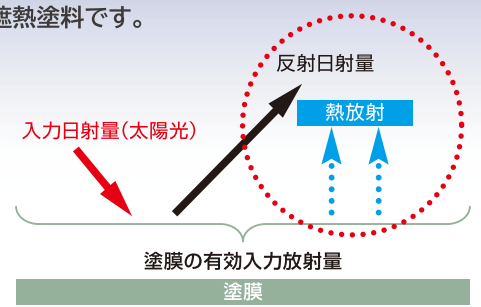
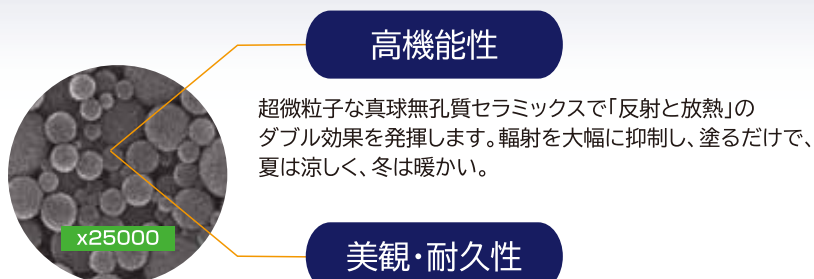
高耐候

無機顔料で
色持ちアップ

省エネ

夏は遮熱
冬は保温

エシカルプロクールは世界最高峰のファインセラミックスに機能性を求めた贅沢な遮熱塗料です。



”冷めやすさ”は熱を逃がす形状の特殊セラミックスに着目

- セラミックスの機能性……………太陽光高反射
- セラミックス形状による機能性……………熱放射ダブルブラインド効果による遮熱性能がポイント！

屋根用高日射反射率塗料 1種LG級

エシカルプロクール Si

JIS認証 ・ 水系 ・ F☆☆☆☆

省エネ・暑さ対策

15

目指したのは JIS 品質

JIS K 5675
屋根用高日射反射率塗料1種L G級

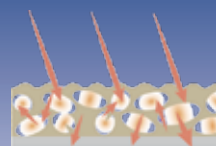
製品名	エシカルプロクールSi
光 沢	5分艶
組 成	水系アクリルシリコン樹脂
期待耐用年数	10～15年

Logic

効果のロジック

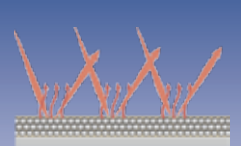
- 1. 屋根温度の抑制 直接的な効果**
塗装後、約20～25℃前後の抑制効果が実証されています。
- 2. 室内温度の抑制 間接的な効果**
塗装後、約2～7℃前後の抑制効果が実証されています。
- 3. 空調負荷の抑制 間接的な効果**
塗装後、約10～35%前後の削減効果が実証されています。

他社の
セラミック系塗料



厚塗り、ザラザラしていて
汚れがつきやすい

プロクール



薄塗り、平滑性あり
汚れがつきにくい

「エシカル」(ethical)という言葉の意味を知っていますか？

エシカルは直訳すると「倫理的な」という意味の形容詞です。そこから派生し、今は「法的な制約はないものの、多くの人が正しいと思える社会的な規範」という意味で使われています。人と社会、地球環境、地域のことを考えて、公正で持続可能な未来を作るために、今や「エシカル」は世界中で欠かせない視点になっています。**エシカルプロクールは「エシカル」の理念から誕生した、未来につながる塗料です。**

水系アクリル樹脂高日射反射率塗料

エシカルプロクール A

ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆

遮熱の標準化

遮熱はスタンダード
安価に遮熱対策の時代

製品名	エシカルプロクールA
光 沢	5分艶
組 成	水系アクリル樹脂
期待耐用年数	6～8年

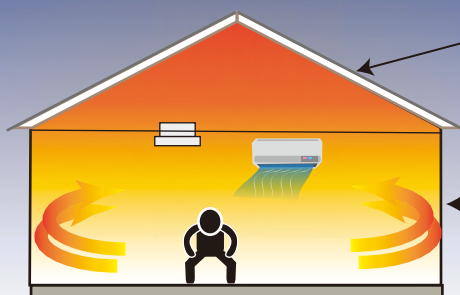
Image

効果イメージ

塗装前

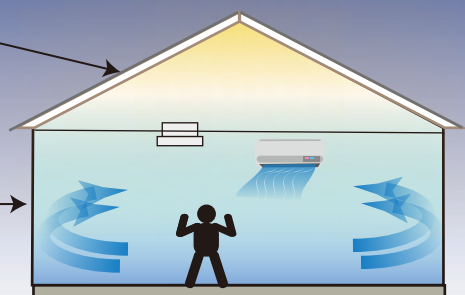


塗装後



屋根温度
20～25℃抑制

自然室内温度
2～7℃抑制



暑い室内をエアコンで冷ますと過大な空調負荷がかかります。
涼しい室内なら弱冷房でも快適だから、電気代削減に大きく貢献します。

*外気温30℃以上の夏日想定
*EPC-009(白色)効果想定

塗替え後も長くご満足頂く為の選定ポイント！！



機能性や耐久性において
公に証明されている事

JIS規格の厳格な試験で高品質、高機能性が
実証されている塗料をお選びください。



効果を持続させるため
汚れがつきににくい事

美観、防汚力、耐久性に優れている
塗料をお選びください。



環境配慮は社会的責任！
水系塗料である事

VOC(揮発性有機化合物)や臭気の
少ない水系塗料をお選びください。

エシカルプロクールは塗装本来の目的である美観性の維持と即効性ある「暑さ・省エネ対策」に最適です。

標準色 22色 5分艶

プロクールシリーズ

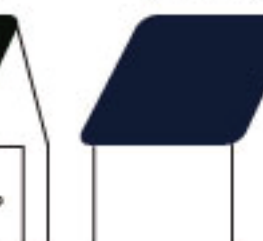
プロクール F
プロクール Si
プロクール A

				
▲ EPC 030 (82.6%)	▲ EPC 031 (80.5%)	▲ EPC 032 (79.2%)	▲ EPC 033 (77.3%)	▲ EPC 034 (72.3%)
				
▲ EPC 040 (83.1%)	▲ EPC 041 (82.0%)	▲ EPC 043 (74.9%)	▲ EPC 044 (70.2%)	▲ EPC 050 (81.0%)
				
▲ EPC 052 (78.7%)	▲ EPC 053 (73.3%)	▲ EPC 054 (68.4%)	▲ EPC 060 (83.6%)	▲ EPC 061 (81.4%)
				
▲ EPC 064 (69.7%)	▲ EPC 070 (82.5%)	▲ EPC 071 (81.2%)	▲ EPC 072 (79.6%)	▲ EPC 073 (72.5%)
				
▲ EPC 074 (72.7%)	▲ EPC 009 (86.8%)			

★ プロクール Si は標準色(22色)全てがJIS認証製品です。
JIS K 5675 屋根用高日射反射率塗料 1種 LG級

- ・この色見本は印刷インキの都合上、実際の仕上がりと多少異なります。
- ・同じ色相でも塗料の種類、ツヤの違い、製造ロットによって異なります。
- ・広範囲に塗装すると、実際の色調より明るく見える場合があります。
- ・色によって材料費が割高になるものもございます。
- ・色見本内容は、将来予告なしに変更する場合があります。

特別色 5色 5分艶

▼ EPC 101	▼ EPC 102	▼ EPC 103	▼ EPC 104	▼ EPC 105
				

- ★ 標準色 () 内の数値はプロクール Si の近赤外線領域 (780 ~ 2500nm) で測定した数値です。
- ★ 白色が最も機能性が高い色となります。
- ★ 機能性を重視する場合、白色又は淡彩色がおすすめです。

プロクール F
プロクール Si
プロクール A



上塗材 製品名	荷姿	内容	系統
● プロクール F	14kg / 缶 4kg / 缶	フッ素樹脂	1液 水系
[専用中塗材] プロクールD 中塗り	14kg / 缶 4kg / 缶	アクリルシリコン樹脂	
● プロクール Si	14kg / 缶 4kg / 缶	変性アクリルシリコン樹脂	1液 水系
● プロクール A	14kg / 缶	アクリル樹脂	1液 水系

下塗材 製品名		荷姿	内容	系統	
金属用	弱溶剤プライマー エポ		16kg / 缶	変性エポキシ樹脂	1液 弱溶剤
	アクアサビノン		16kg / 缶	1液反応硬化型 エポキシ変性アクリル樹脂	1液 水系
	エシカルプライマーJ (主剤14.4kg 硬化剤1.6kg)		16kg/セット	2液速乾弱溶剤型 変性エポキシ樹脂	2液 弱溶剤
非金属用	屋根 壁	弱溶剤クールシーラー	14kg / 缶	遮熱用エポキシ樹脂	1液 弱溶剤
	屋根 壁	水性ホワイトシーラー	15kg / 缶	カチオン系アクリル樹脂	1液 水系
	壁	ソフトウォール	16kg / 缶	可とう形改修塗材E	1液 水系
	壁	断熱ソフトウォール	12kg / 缶	断熱可とう形改修塗材E	1液 水系
防水用	マルチプライマーEP (主剤11.2kg 硬化剤4.8kg)		16kg/セット	2液反応硬化型エポキシ樹脂	2液 強溶剤
	マルチプライマーEP 希釈専用シンナー		16kg / 缶 4kg / 缶	エポキシ系シンナー	溶剤

●塗装上の注意事項

- ✓ 晴雨、降雪、強風が予想される場合や気温 5℃以下、湿度 85% 以上または結露が懸念される場合は塗装を避けてください。
- ✓ 施工後 24 時間以内に降雨、降雪、夜露、霜凍、結露等があった場合、水の影響で色ムラ、気泡が発生する場合があります。
- ✓ 塗膜厚が高湿（90%以上）の場合は塗装を避けてください。
- ✓ 塗膜乾燥を速くし塗膜面は十分に乾燥させてください。乾燥が不十分な場合、面剥、ムラ、剥離等の原因となります。
- ✓ 上塗材には特殊セラミックが配合されているため、必ず使用直前（各工程毎）3 分以上攪拌機（低速回転）で攪拌してください。
- ✓ 2 液の場合、主剤と硬化剤は正確に計量し混合してください。また、使用前は十分に攪拌し使用時間内に使用ください。
- ✓ 既存塗膜は事前にシンナーで拭き取り、溶剤やリフティングが発生しない事を確認してください。
- ✓ 塗布量が少なければ防錆性や付着性が低下する為、必ず標準塗布量を遵守してください。
- ✓ 希釈で塗る場合と比べ不足や過剰を招くため、必ず標準規定量内で希釈してください。
- ✓ 製造ロットが異なると色味が変わる場合があります。補修等で追加工事の際はご注意ください。
- ✓ 塗膜前に必ず試し塗りを行い色やツヤ面など確認したうえで本施工を行ってください。
- ✓ シーリング材に直接塗ると硬化不良を起こします。また、塗膜に割れ、剥がれを生じる事が多いため塗装を避けてください。
- ✓ 固付した状態で長時間放置しないでください。また、材料は直射日光を避け、40℃以下の冷暗所で保管してください。
- ✓ 屋外又は換気のよいところでのみご使用ください。

※その他詳細な内容は安全データシート（SDS）を参照ください。

●取扱い上の注意事項

- ✓ 引火性液体ですので、火気のあるところでの使用は避けてください。
- ✓ 火花を発生させない工具を使用し、静電気放電に対する予防措置を講じてください。
- ✓ スプレーミストが可燃物に接触しないよう留意し、十分な養生を行ってください。
- ✓ 容器からこぼれた場合、布で拭き取って水の入った容器で保管してください。
- ✓ 漏洩法に従って保管してください。
- ✓ 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますので保護具を使用してください。
- ✓ 直接皮膚に触れないよう保護メガネ・手袋・長袖の作業衣等保護具を使用してください。
- ✓ 高気圧臭いガス吸込み気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にしてください。
- ✓ 皮膚に付着した場合は直ちに石鹸水で洗い流し腫れや痛みや変色がある場合は医師の診察を受けてください。
- ✓ 目に入った場合は直ちに大量の流水で洗い流し医師の診察を受けてください。
- ✓ 服につけ込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- ✓ 取扱後は手洗い、うがい、鼻洗浄を行ってください。
- ✓ 火災時には炭酸ガス、粉末または泡消火器を用いて初期消火をしてください。
- ✓ 塗料缶は産業廃棄物として処理してください。

※その他詳細な内容は安全データシート（SDS）を参照ください。

※本カタログの内容は予告なく変更することがありますので予めご了承ください。